

■ 実態調査について

○ 子どもの生活に関するアンケート調査（資料 2）

・ 実施方法

（当初）

彦根市内に居住する

小学 4～6 年生 1,200 人（各学年 400 人）と中学生 1,200 人（各学年 400 人）

計 2,400 人の保護者（無作為抽出、郵送により配布・回収）

（今回検討中）

小学 5 年生、中学 2 年生の児童・生徒の保護者 約 2,000 人

※ 現在学校配布、郵送回収方式で関係者と協議中です。

・ 調査票（別紙のとおり）

内容を精査し、回答し易いように工夫を加えた。

○ 資源量調査

・ アンケート形式

市立保育所・幼稚園、市立小・中学校、市内高校・大学 45 校（園）

⇒ 実態をさらに把握するため、アンケート対象を 市内保育所・幼稚園・中学校にも拡大。結果、25 校（園）増やし、計 70 校（園）で実施する。

・ ヒアリング形式

保育所・幼稚園、小・中学校、市内高校・大学、彦根子ども家庭相談センター、コーポのぞみ、民間支援団体、教育委員会（スクールソーシャルワーカー）、福祉保健部（学習支援員、社会福祉課・子育て支援課 CW）

※ 保育所・幼稚園、小・中学校、市内高校・大学はアンケート形式の調査結果等から数校を抽出して実施。

○ 子どもへの聞き取り調査（9月12日配布開始）

社会福祉課学習支援を利用している子どもや民間支援団体の学習支援を利用している子どもからの聞き取りの実施